

発行日	令和4年6月1日
発行元	災害対策課
所属長	課長 森本 仁信
電話	06-6489-6165

# 防災対策情報便



令和4年5月号



## 1 もうすぐ梅雨に入ります。風水害の対策をしましょう。

### 災害情報の取得方法

尼崎市では、災害時により多くの方へ情報を伝えることができるように、様々な媒体で情報発信を行っています。事前に確認しておき、災害時に落ち着いて情報を入手できるようにしておきましょう。

#### テレビ

- ・ 気象情報やテレビの「dボタン(データ放送)」で市内の災害情報を確認できます。



#### 尼崎市HP・SNS

- ・ 災害発生時には随時、市のホームページやLINE、Twitter、Facebookで災害情報を発信します。



#### 災害情報電話サービス

- ・ 0180-99-6007にかけると、避難情報など市からの24時間以内の最新の災害情報を音声で聞くことができます。※電話料金は利用者の負担となります。



#### 尼崎市防災ネット※登録は下記参照

- ・ 尼崎市防災ネットに登録することにより、携帯版の尼崎市防災情報の閲覧やメールサービスを受けることができます。是非ご活用ください。



※尼崎市防災ネットの登録方法

(1)QR コードでダウンロード



(2)メールで登録

1. [amagasaki@bosai.net](mailto:amagasaki@bosai.net) 宛てに空メールを送信してください。
2. 返信メール内の「利用規約」を読みます。
3. 返信メール内の「利用規約に同意して登録する」と書かれた URL を選択すると登録完了です。

## 避難の基準

大雨や洪水など、水害の危険性が高まったときには、避難情報などを下記の「警戒レベル」を使って段階的に発令します。いざという時に適切に避難できるよう、各レベルの意味を確認しておきましょう。

警戒レベル	避難情報など	どんな行動をするか
<b>警戒レベル5</b>	緊急安全確保	災害が発生し、切迫している状況です。命の危険があるため、直ちに安全を確保しましょう
<b>警戒レベル4</b> 全員避難	避難指示	速やかに危険な場所から全員避難しましょう。公的な避難場所に限らず、近くの安全な場所や、自宅内で安全を確保することも避難の選択肢の一つです
<b>警戒レベル3</b> 高齢者などは避難	高齢者等避難	避難に時間を要する人（高齢者、障害のある人、乳幼児）とその支援者は危険な場所から避難しましょう
<b>警戒レベル2</b>	大雨・洪水注意報など	気象情報などの最新情報に注意し、避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう
<b>警戒レベル1</b>	早期注意情報	

本市から発令

気象庁が発表

**注目!**

尼崎市から【警戒レベル 3】【警戒レベル 4】【警戒レベル 5】が発令された地域の方は、速やかに避難行動をとってください。

## 避難方法

避難行動には、海や河川からより遠くへ移動する「水平避難」、津波等一時避難場所や近隣の安全な場所へ移動する「垂直避難」、自宅等の今いる建物内の2階以上等といった、より安全な部屋へ移動する「屋内安全確保」の3種類があります。

水平避難



垂直避難・  
屋内安全確保



**注目!**

### 【避難の際の心得】

- ①積極的に情報を入手、②浸水より高い場所へ、③原則歩いて避難、④浸水した道路は通らない、⑤低い道路は通らない、⑥自宅にとどまるなら十分な準備を

## 避難場所の種類

災害の種類や状況によって、避難する場所が異なります。避難場所の違いを理解し、最寄りの指定避難場所や津波等一時避難場所を確認しておきましょう。

<b>津波等一時避難場所</b>  津波や洪水が発生した場合や発生のおそれがある場合、一時的に避難できる場所です。避難情報が発令された際に避難可能です	<b>指定避難場所</b>  災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険性がなくなるまで避難する場所です
<b>大火災避難場所</b>  地震や地震に伴う大規模な火災時に避難する場所です	<b>福祉避難所</b>  災害時に特別な支援を必要とする方を受け入れる場所です

## 非常時持ち出し品

いざというときのために、非常持ち出し品は定期的にチェックしてリュックなどに入れ、いつでも持ち出せる場所に置いておきましょう。

### 飲料水・非常食

- ・飲料水(500mlのペットボトル)
- ・缶入り乾パンなど
- ・缶詰、レトルト食品
- ・粉ミルク(必要な方)

### 救急用品

- ・ヘルメット(帽子)、雨具、防寒具
- ・救急セット、常備薬
- ・ナイフ、缶切り、栓抜き

### 情報・照明

- ・懐中電灯
- ・ラジオ(FM放送対応のものが望ましい)
- ・予備の電池
- ・モバイルバッテリー
- ・携帯電話の充電用機器

### 生活用品

- ・衣服類
- ・アルコール消毒液
- ・マスク
- ・ティッシュペーパー、トイレトペーパー
- ・現金、通帳、保険証、印鑑などの貴重品

**注目!**

あくまでも、例示ですので家族構成やその他の状況を踏まえて、必要な持ち出し品を準備しておきましょう。電子機器等は壊れていないか、充電がされているかを確認しておきましょう。なお、非常時持ち出し品とは別に、最低3日、出来れば1週間分の飲料水や食料を備蓄してください。



## マイ避難カード

「マイ避難カード」とは、一人ひとりができる風水害への備えとして、「いつ」(避難のタイミング)、「どこへ」(避難先)、「どのように」(避難する方法)などを事前に考えておき、カードにまとめたものです。

災害が発生したことを日頃から意識し、家族で災害発生後の行動を共有することでよりスムーズな避難行動が可能となります。

どのような情報源で？

いつ(どのような状況になれば)？

どこに？

どのように？

マイ避難カード	
災害の種類	洪水
名前	尾崎 太郎
避難場所	避難場所(どこに？) 避難先(どこに？) 避難先(どこに？) 避難先(どこに？)
避難方法	避難方法(どのように？) 避難方法(どのように？) 避難方法(どのように？)

尾崎市 マイ避難カード

検索



## 2 地域の防災つなぎ隊！！

尾浜連協の防災士佐藤さんにお話を伺いました。佐藤さんは、今回防災士の資格を取られてから初めての防災に関する講義をされました。

初めは、「すごい緊張しています。」とおっしゃっていましたが、ご自身の体験や実際に災害が起こった時のケースをシミュレーションしながらお話しされていました。

また、参加されていた地域の方々も佐藤さんのお話を熱心に聞いておられました。

Q 防災士の資格を取られたきっかけは何だったのですか。

A もともと、地域の活動には参加をしていたのですが、その中で人と人とのつながりが非常に大事であることを実感し、少しでも人の役に立ちたいと感じたのがきっかけです。

Q 今回、地域で防災の講義をされたのは初めてと伺いましたが、感想はいかがですか。

A 昨晚、緊張して眠れなかったです。でも、皆さんに日頃どのように災害対策をすればよいのかを伝えることができほっとしています。

Q 今後、地域において取り組んでいきたいことは何ですか。

A 高齢者や他の団体などの立場が違ったコミュニティーに積極的に参加していきたいと思います。また、今回のような地域で行う講座をきっかけに、みなさんが同じ方向を向いて、災害に関する勉強を共にしていければ良いなと思います。